

日本語の起源

The origin of the Japanese language

Abstract

There are many kinds of language in the world, and they are closely related to other languages. If it is true, we think that the Japanese correlated with them.

What is the language? What kind of relations will it be? We have been interested in the matter, so we select it as the theme of investigation.

1. 目的

日本語の起源を調べるにあたって、日本語に関係があると思われるある言語を調べ、どんな点において共通であり、どんな点において相異なるか理解し、自分たちなりの結論を導く。

2. 方法

- (1) 言語を調べる上で、候補を絞る。
- (2) それぞれの言語との共通点および相違点を発見する。
- (3) 考察し、自分たちなりの結論を導く。

3. 結果

明確な結論は出なかったが、日本語にも諸外国語との関係性が認められた。

<アルタイ諸言語説>

日本語がアルタイ諸言語と言語構造において著しく類似していることから同系ではないかとする説。

共通点

- ・特定の言語にみられる子音対応
- ・膠着語であること
- ・母音調和がみられる
- ・語順はSOV型

相違点

- ・日本語はいわゆる開音節語だが、アルタイ諸言語には閉音節が少なくない。
- ・類似している単語が少ない。

<タミル語説>

インド南方やスリランカで用いられているタミル語と日本語との基礎語彙を比較し、日本語が語彙・文法などの点でタミル語と共通点をもつとの説。

共通点

- ・発音・音韻の対応
- ・語順はSOV型

相違点

- ・比較言語学の方法上の問題

4. 考察・結論

日本人の顔の成り立ちが、北・南の民族から構成されていることから、日本語の成り立ちもこの民族に関係していると考えた。調べたところ、アルタイ諸言語・タミル語という二つの言語にたどり着くことができた。

しかし、双方にも決定的な根拠・要素を見出すことはできず、断言はできない。さらに研究を続けていく必要がある。

5. 参考文献

「日本語の起源 新版」 大野晋(岩波新書)

「日本の歴史 原ニホン人と列島の自然」(週刊朝日百科)

「アルタイ諸言語の構造」 服部四郎(歴史読本臨時増刊)

6. キーワード・語句解説

アルタイ諸言語、タミル語、母音調和、比較言語学、開音節、閉音節

母音調和…母音が「男性」「女性」の2グループ、または「男性」「中世」「女性」の3グループなどにわかれ、「男性母音」「女性母音」が原則としてひとつの単語の中に共存しない現象。

比較言語学…言語学（歴史言語学）の一分野であり、親縁関係や同系性が推定される諸言語を比較することにより、同系性や親縁性（語族、語派）を見出したり、あるいは共通祖語を再構したりしようとする学問。

開音節…母音で終わる音節。

閉音節…子音で終わる音節。